

溜まり水のあるトレンチの対応状況について

2016年6月30日



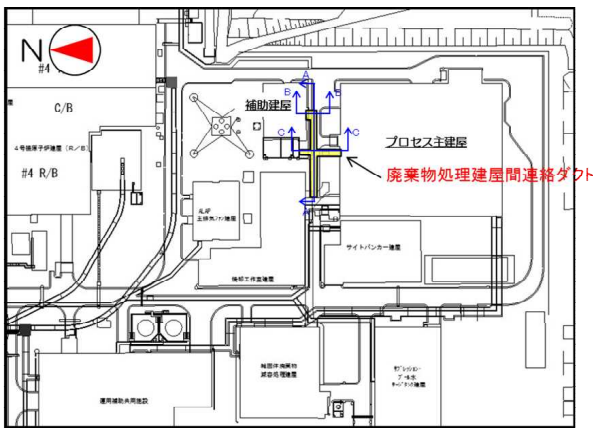
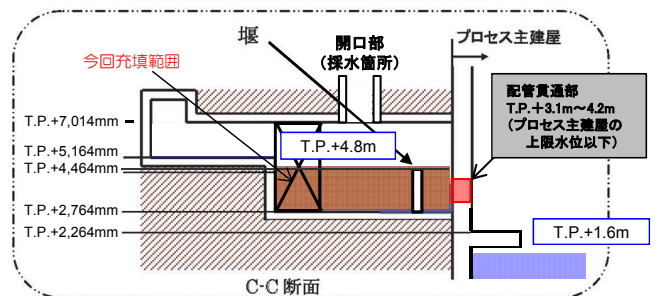
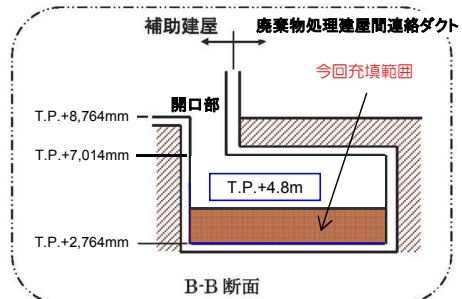
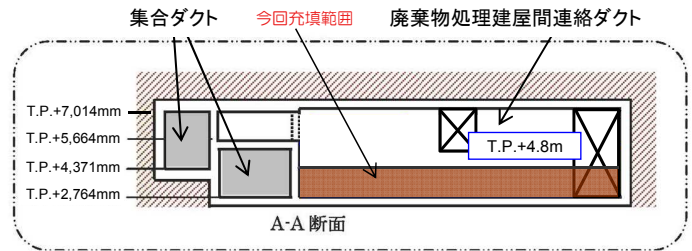
©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.
無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

1

廃棄物処理建屋間連絡ダクト・対策の進捗状況



- 2016年1月19日から水移送を行った結果、当該ダクトの水位はT.P.+4.3mを維持しており、継続的な流入がないことから、T.P.+4.3m以下を閉塞することとした。これにより、万が一のプロセス主建屋からの滞留水流出を防止することができる。なお、当該ダクト内に堰が設置しており、堰～プロセス主建屋間の滞留水を回収するため、堰の天端(T.P.約+4.7m)を上回るT.P.約+4.8mまで充填し(計画充填量・約280m³)、当該ダクト内の滞留水は、全て移送する予定。
- 5日10日から充填・水移送作業に着手し、6月8日に水移送を完了、6月13日までに約274m³の充填を完了。
- 充填完了後も、監視を継続していく。



廃棄物処理建屋間連絡ダクト周辺概要平面図

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.
無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

2

■ 2・3号機海水配管トレンチ以外の建屋に接続しているトレンチについては溜まり水点検結果等に基づき、汚染水の漏えいリスクや建屋への水流入リスク、現場状況を勘案し、順次、溜まり水除去・充填の対応を実施。

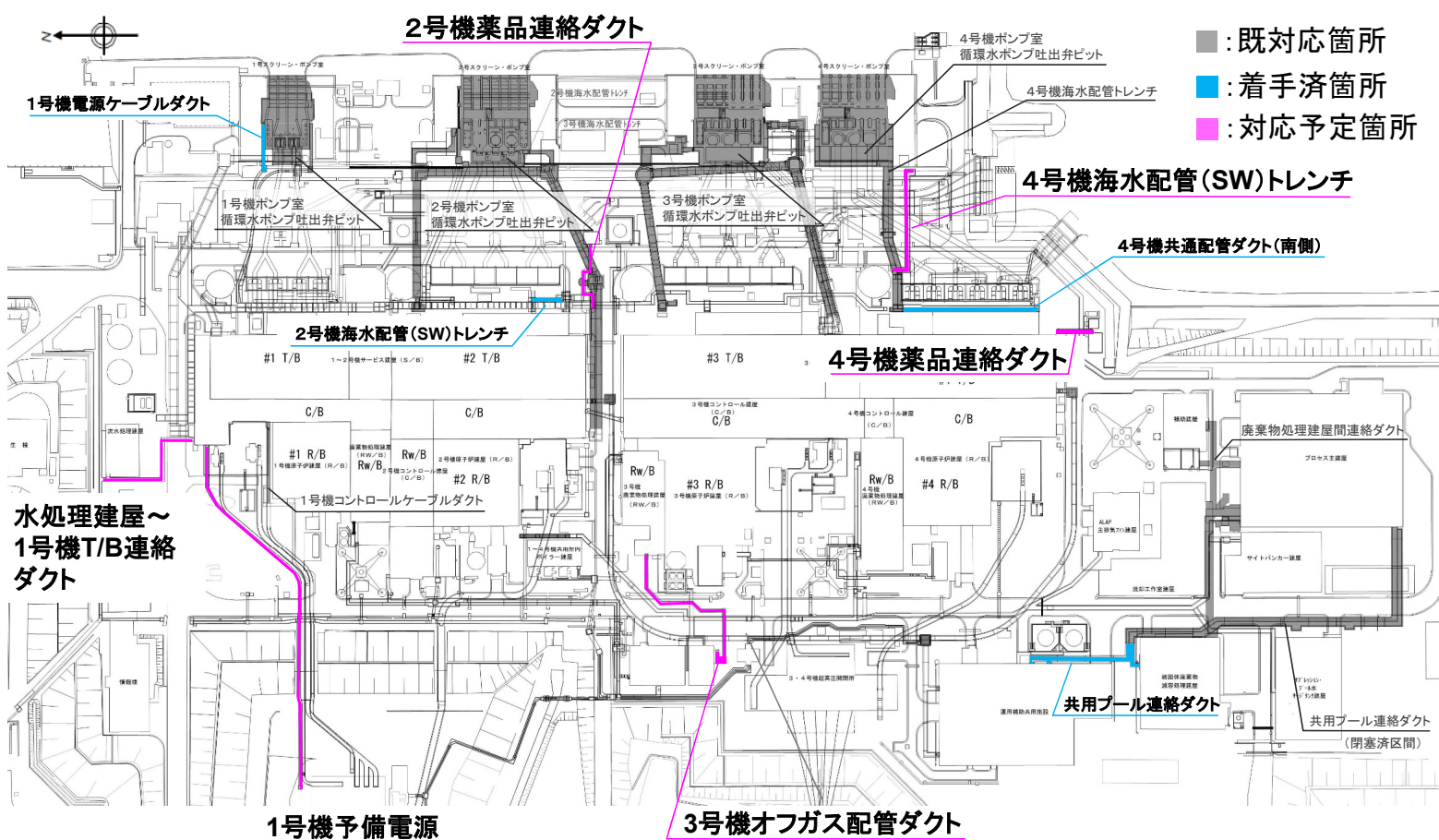
2号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	:2012年4月完了
3号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	:2012年5月完了
共用プール連絡ダクト(高濃度汚染水確認範囲)	:2013年2月完了
1号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	:2015年11月完了
4号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	:2015年11月完了
4号機海水配管トレンチ	:2015年12月完了
1号機コントロールケーブルダクト	:2016年3月完了
1号機電源ケーブルトレンチ	:2016年6月着手
2号機海水配管(SW)トレンチ	:2016年6月着手
4号機共通配管ダクト(南側)	:2016年6月着手
共用プール連絡ダクト	:2016年6月着手
廃棄物処理建屋間連絡ダクト	:2016年6月完了

■ 未対策のトレンチについては、滞留水がある建屋に接続しているトレンチ等を中心に、定期的に溜まり水点検を実施し状況把握を行うと共に、溜まり水の放射性物質濃度、水量、現場状況等を勘案し、順次、溜まり水の除去や充填等の対応を計画していく。

【2016年7月以降着手予定】

- ・水処理建屋～1号機T/B連絡ダクト
- ・1号機予備電源ケーブルダクト
- ・3号機オフガス配管ダクト(北側)
- ・2号機薬品タンク連絡ダクト
- ・4号機薬品タンク連絡ダクト
- ・4号機海水配管(SW)トレンチ

トレンチの対応状況



【参考】2015年度溜まり水点検結果

- 溜まり水点検（2015.12～2016.1実施）を行った142設備中、53設備で溜まり水が確認され、49設備で溜まり水が確認されなかった。その他、40設備については高線量、支障物のため点検不可の状況。
- 廃棄物処理建屋間連絡ダクトにおいて、昨年度と比較して約4,000倍のCs濃度（2014年度： 1.2×10^2 Bq/L⇒2015年度： 4.9×10^5 Bq/L）が確認されたため、水移送、内部充填等の対応を実施。
- 上記の廃棄物処理建屋間連絡ダクト以外のトレンチ等について、溜まり水のCs濃度はすべてC区分（ 10^4 Bq/Lレベル以下）で、既往の調査結果からの有意な変化なし。

状況区分	溜まり水の放射性物質濃度(Cs)・区分		1-4号機		5-6号機	合計
			①滞留水がある建屋に接続しているトレンチ等	②滞留水がある建屋に接続していないトレンチ等	③5・6号機周りおよびその他トレンチ等	
溜まり水あり	10 ⁶ Bq/Lレベル～	A	廃棄物処理建屋間連絡ダクト	0	0	0
	10 ⁵ Bq/Lレベル	B		1	0	1
	10 ⁴ Bq/Lレベル	C		0	0	0
	10 ³ Bq/Lレベル			8	2	1
	～10 ² Bq/Lレベル			8	8	19
	ND			0	1	5
溜まり水なし			6	13	30	49
調査不可			11	29	0	40
小計			34	53	55	142
総計			142			